立憲民主党 立憲民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町 1-11-1
三宅坂ビル7F
Tel.03-3595-9988
Fax.03-3595-9088

2025.11 号外
立憲民主
RIKKEN MINSHU

衆議院議員
福田じゅんた

2025年 臨時国会特別号
連絡先：立憲民主党 長野県第５区総支部
〒395-0001　長野県飯田市座光寺464-1
TEL：0265-48-8083　FAX：0265-48-8084
メール：cdp.fukuda@gmail.com

SNS発信中！！
X　Facebook

果樹温暖化対策、公立病院支援、交通問題など議論！

立憲民主党長野県第５区総支部長の福田じゅんたさんの初当選から一年。**農林水産委員会**では、リンゴや柿の温暖化対策や松枯れ対策予算の拡充などを取り上げました。**地域活性化・こども政策・デジタル社会形成特別委員会（地こデジ）**では、**公立病院**や**地域公共交通への支援**を求めました。
秋から始まった臨時国会。今国会からは**国土交通委員会**に所属。**三遠南信自動車道の整備推進、リニアの早期開通**など、伊那谷の発展のために力を尽くしていきます。福田さんの国会での質問をご紹介します。

■果樹の温暖化対策について

（令和７年４月１６日　農林水産委員会）

福田：暖冬と高温により、果樹カメムシ類の発生が過去10年で最多になるなど、被害が深刻である。今ある品種を安心して作り続けられるよう、高温対策（遮光など）や病害虫対策（交信攪乱など）への手厚い支援が必要ではないか？

江藤拓大臣：カメムシが越冬するようになり非常に厄介な問題。病害虫対策については、都道府県と協力して発生予想情報を出し、令和7年度予算で病害虫防除推進に約19億円を計上している。早い段階での防除を徹底していく。（※裏面に続く）

■福田じゅんたプロフィール

1993年11月3日 飯田市立病院にて生まれる。
母は長野県飯田高校卒。祖父は飯田市内で建具屋を営む。曾祖父は画家下平善三。 自身も飯田中央保育園、飯田市立松尾小学校に通う。
国学院大学法学部を卒業後、参議院議員 福山哲郎事務所インターンや、衆議院議員 中谷一馬 秘書を務める。
千葉日報に約5年半在籍、新聞記者として国会や県政取材に取り組む。
現在３２歳。 飯田市松尾明 在住。

伊那谷の未来のため、国政で議論！

■森林経営管理制度における市町村の負担軽減と人材不足対策について

（令和７年４月10日 農林水産委員会）

福田：森林経営管理制度は、所有者の同意取得などで市町村職員の負担が非常に大きい。また、人材不足を補う地域林政アドバイザーも、専門人材が集まらない。自治体職員の負担や人材不足にどう対応していくのか？

江藤大臣：今回の法改正により、県が最初から関与することや、アウトソーシング先を法律に規定することが可能となる。また、同意要件を二分の一に緩和することで、所有者不明などによる同意取得の負担が大幅に軽減され、市町村の負担を減らす方向に働くものと評価している。

■松枯れ対策の強化と予算確保について

福田：温暖化により松枯れ被害が標高の高い地域にも拡大し、長野県ではやや増加傾向にある。松枯れは山崩れにもつながり国土保全上重要だが、自治体では予算に限りがあり対策が進まない。この状況への認識と、国土保全のためにも、引き続き予算の確保と拡充が必要ではないか？

江藤大臣：松枯れは増加傾向に転じており、一度入ると止まらない厄介な問題である。対策として、被害木除去と薬剤散布が必要であり、令和7年度の当初予算で約6.1億円を積み増し、対策を強化している。この事業を利用して被害を拡大しないよう取り組みたい。

■公立病院への支援について

（令和７年４月15日 地域活性化・こども政策・デジタル社会形成に関する特別委員会）

福田：私の地元の公立病院は、元々、移転新築をする予定だったが、資材価格の高騰などにより、現在で移転新築の計画自体が一旦ストップしている。

（全国の）公立病院の七割が赤字ということを考えると、今回取り上げた病院だけではなく、全国にも共通する問題。地域の医療提供体制を守るのはもちろん、移住、定住の促進のためにも、公立病院の新築、建て替えに対して補助をする必要があると考えるが、御所見は？

政府参考人：昨年度の補正予算に盛り込んだ物価高騰への対応や、緊急的な支援パッケージにおいて、一定の要件に該当する公立病院、例えば、僻地の中核を担っていただけるような公立病院等を支援の対象としている。特に、従前の国庫補助事業の交付対象となる施設整備事業については、物価高騰を反映した単価と補助単価の差額を支援している。また、総務省においては、病院事業債により、公立病院の新築、建て替え等に関する地方財政措置を講じているものというふうに承知している。

公立病院を含む地域の医療機関への支援については、引き続き、総務省とも連携しながら、物価高騰それから建築単価の高騰への対応を含めて、必要な対応をしてまいりたい。

■地方における交通空白地対策と運転手不足について

福田：地方は公共交通に恵まれず、高齢者の運転や事故の危険が増している。タクシーの台数や運転手不足も深刻。経営の厳しい事業者への援助や、運転手不足対策も含め、交通空白の解消に向けて総合的にどのような対策を講じるのか？

政府参考人：路線バス運行費補助に加え、運賃改定の迅速化、賃上げ促進、二種免許取得支援、外国人材活用など各種措置を講じてきた。今後は令和7～9年度の3年間を「集中対策期間」とし、自治体・事業者への伴走支援、パイロットプロジェクト推進、財政支援などを通じて、
地域の取り組みを総合的に後押しする。

ご意見・ご要望お寄せください！

お名前　　**ご住所・ご連絡先**

ＦＡＸ送信先⇒ 0265-48-8084 立憲民主党長野県第5区総支部宛

E-mail : cdp.fukuda@gmail.com